



意識高めめ災害撲滅

大林道路大阪支店

大林道路大阪支店（池田朗常務執行役員支店長）と支店安全衛生協力会（榎並克彦会長）は、大阪

市淀川区のメルパルク大阪で、2016年度安全大会を開いた。写真、関係者ら約200人が参加し、労働災害ゼロを誓った。

冒頭、支店安全衛生協力会の榎並会長による開会の辞に続いて地方安全衛生総括責任者を務める池田支店長は、「労働災害は当たり前前のができていけば防げるものが多い。きょうを契機に関係者全員が安全意識を高め、労働災害を撲滅しよう」とあいさつした。

天満労働基準監督署の窪田浩和署長、大林組本店建築事業部安全環境部の渡邊紀彦副部長の祝辞に続き、中央安全衛生総括責任者を務める坪内卓夫大林道路本店代表取締役専務執行役員は「安全を軽視し事故を発生させると、会社の信用を失う。皆さんには、趣旨をよく理解して安全衛生活動を実施してほしい」と呼び掛けた。

表彰式の後、支店安全衛生協力会の松本哲夫副会長が安全宣言を

読み上げた。

第2部では、プロゴルファーの田村尚行氏が「選んだ道でベストに」をテーマに講演した。

(6・27)

